

株式会社 JVCケンウッド

2023年8月23日

「表示画角調整機能^{※1}」により後方視認性を向上し、斜め後方車の接近を警告する新機能によりドライバーをサポート

デジタルルームミラー型ドライブレコーダー「DRV-EM4800」を発売

～当社独自の映像・車載技術でチューニングした「Hi-CLEAR TUNE」による自然でクリアな映像表示と録画を実現～

株式会社JVCケンウッドは、KENWOODブランドより、ドライブレコーダーの新ラインアップとして、前方・後方の同時撮影に対応するデジタルルームミラー型ドライブレコーダー“ミラレコ”「DRV-EM4800」を9月下旬より発売します。

本機は、大画面 12V 型 IPS 液晶を採用したデジタルルームミラーを搭載する前後撮影対応 2 カメラドライブレコーダーです。ドライブレコーダーとして前方・後方の走行映像の録画を行うとともに、デジタルルームミラーとしてリアカメラで撮影する映像をリアルタイムに高画質で大画面に映し出し、荷物や車体などで生じる死角が少なく、広い視界で後方確認が可能です。

後方車との距離感をつかみやすくする「表示画角調整機能^{※1}」や、斜め後方車の接近を警告する新機能を含む「運転支援機能」を搭載し、ドライバーの安心・安全運転をサポート。また、独自の映像・車載技術でチューニングした「Hi-CLEAR TUNE（ハイクリアチューン）」により総合的に画質を向上させ、自然でクリアな映像表示と録画を実現しています。

※1:「表示画角調整機能」は標準の映像（1.0x）を拡大処理するため、倍率を上げると解像度は下がります。

品名	型番	希望小売価格 (税込)	市場推定価格* (税込)	発売時期
デジタルルームミラー型ドライブレコーダー	DRV-EM4800	オープン価格	54,100 円前後	9 月下旬

*「市場推定価格」は、発売前の商品について、市場での販売価格を当社が推定したものです。なお、商品の実際の販売価格は、各販売店により決定されます。



<企画意図>

運転中の映像を録画できるだけではなく、荷物や車体などで生じる死角が少なく、より広い視界で後方を確認できるデジタルルームミラー型ドライブレコーダーは近年、新しいタイプのドライブレコーダーとして、国内メーカーの参入が続き、自動車メーカーによる標準搭載やオプション採用も増えており、市場ニーズが高まってきています。

当社も 2021 年より、同タイプのドライブレコーダーを市場投入しており、12V 型 IPS 液晶を搭載した大画面モデル「DRV-EM4700」（2021 年 7 月発売）を皮切りに、コンパクトカーに最適な 10V 型 IPS 液晶搭載モデル「DRV-EM3700」（同年 10 月発売）、当社製 AV ナビゲーションシステム“彩速ナビ”と連携できる「DRV-EM5700」（2022 年 11 月発売）の 3 モデルを展開しています。

このたび、当社が発売する「DRV-EM4800」は、「DRV-EM4700」の後継モデルとして、さらなる高画質化、後方視認性の向上など、デジタルルームミラー型としての性能をアップしつつ、ドライバーの安心・安全な運転をサポートする機能も充実させました。

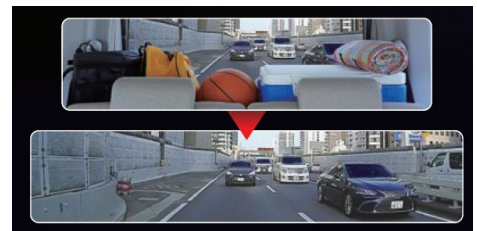
本機は、後方の映像を拡大し、後方車との距離感をつかみやすくする「表示画角調整機能^{※1}」を新搭載するとともに、当社製ドライブレコーダーにおいて好評を得ている「運転支援機能」には、死角となる斜め後方からの車両接近を警告する新機能も搭載しました。また、明るく低ノイズで色再現性に優れた新採用の CMOS センサー「PureCel[®]Plus」や、明暗差の大きいシーンも安定した映像で撮影できる HDR 機能、広範囲を記録できる広視野角レンズなどのデバイスや機能を、当社独自の映像・車載技術でチューニングした「Hi-CLEAR TUNE（ハイクリアチューン）」により、総合的に画質を向上。自然でクリアな映像表示と録画を実現しています。

当社はドライブレコーダーのラインアップを、機能や採用デバイス、およびコンセプトに基づいたチューニング「Hi-CLEAR TUNE」に応じてシリーズ化し、ハイエンドモデルの「X シリーズ」、ミドルレンジの「G シリーズ」、エントリーモデルの「R シリーズ」の 3 シリーズで市場展開しています。本機は、最上位の「X シリーズ」として展開し、高画質・後方視認性能・安全支援を兼ね備えたデジタルルームミラー型ドライブレコーダーとして提案します。

<主な特長>

1. リアカメラの高画質映像を大画面 12 型 IPS 液晶に映し出し、死角の少ない後方確認が可能

リアカメラで撮影する高画質映像をリアルタイムに大画面 12 型 IPS 液晶のデジタルルームミラーに映し出し、荷物や車体などで生じる死角の少ない後方確認が可能です。



<後方映像イメージ>

2. 後方車との距離感をつかみやすいよう、映像を 6 段階で拡大できる「表示画角調整機能^{※1}」を新搭載

デジタルルームミラーに表示するリアカメラの映像を 6 段階で拡大できる「表示画角調整機能^{※1}」を新搭載。広角レンズによる遠近感の強調を調整することができ、後方車との距離感をつかみやすくなることが可能です。



拡大率：1.0x



拡大率：1.3x



拡大率：1.5x

<後方映像の拡大イメージ>

3. 当社独自の映像・車載技術でチューニングした「Hi-CLEAR TUNE」により、総合的に画質および機能を向上

当社がドライブレコーダーの開発において長年にわたり培ってきた独自の映像技術と車載技術を組み合わせ、チューニングを行った「Hi-CLEAR TUNE（ハイクリアチューン）」により、総合的に画質や機能を向上させ、映像性能および機能性を強化しています。デジタルルームミラーの映像表示においても自然でクリアな画質表示を実現します。

4. 明るく低ノイズで色再現性に優れた CMOS センサー「PureCel[®]Plus」を新採用

前後 2 カメラに明るく、低ノイズで、色再現性に優れた裏面照射型 CMOS センサー「PureCel[®]Plus」を新採用。夜間やトンネル内など暗いシーンでは明るくノイズの少ない映像で撮影し、明るいシーンでは色再現性に優れた映像の撮影が可能です。

5. 前後 2 カメラに HDR 機能を搭載し、トンネルの出入り口など明暗差の大きなシーンで安定した録画が可能

前後 2 カメラに HDR（ハイダイナミックレンジ）機能を搭載。逆光やトンネルの出入り口、夜間走行時の照明など、明暗差が激しい環境時に起きやすい「白とび」や「黒つぶれ」を抑え、安定した映像表示と録画を実現します。

6. 駐車時などの後方確認をサポートする、リバース連動「画角自動下降機能」を新搭載

リバースに連動し、駐車時などに後方確認をサポートする「画角自動下降機能」を新搭載。本機のリバース検出コードを車両に接続^{※2}することにより、車両後退時、あらかじめ設定した下向きの角度に自動的にアングルが切り替わります。バックカメラの補助的な役割としても利用できます。

※2：本機のリバース検出コードを付属の中継コネクタを使用し、車両のリバースランプハーネスに接続する必要があります。

7. 広範囲を記録できる広視野角レンズを採用

前後2カメラに、水平：約133°／垂直：約69°／対角：約162°の広視野角レンズを採用。前方・後方映像ともに、広い範囲の録画に対応します。

8. リアカメラに「明るさ調整機能」を搭載、リアガラスがスモークガラスでも明るい映像で録画が可能

前後2カメラの明るさをそれぞれ3段階の調整ができる「明るさ調整機能」を搭載。リアガラスがスモークガラスの場合でも、リアカメラの明るさだけを調整して、後方の映像を明るく、鮮明な映像で表示と録画をすることが可能です。

9. 斜め後方からの車両接近を警告する新機能をはじめ、ドライブをサポートする「運転支援機能」を搭載

・【新機能】斜め後方障害物警告

死角となる斜め後方に接近する車両を検出すると、画面表示と警告音で知らせます。

・後方急接近警告

後方車両の急接近を検出すると、画面表示と警告音で知らせ、イベント記録を開始します。

・前方衝突警告

走行中に前方車両との距離を検出し、安全な距離が保たれていない場合に警告音を鳴らして画面にアイコンを表示します。

・車線逸脱警告

走行中に車線を逸脱したとき、警告音を鳴らして画面にアイコンを表示します。

・発進遅れ警告

信号などで停車中に前方車両が発進して離れてしまったとき、警告音を鳴らして画面にアイコンを表示します。

10. 取り付け位置の自由度を高める、セパレート式フロントカメラを新採用

デジタルルームミラー本体と、フロントカメラが分離しているセパレート式を新採用。車の状況に応じて、運転支援システムや視界を妨げないよう取り付けることができます。

11. さまざまな車両状況を記録できる4つの録画機能を搭載

・常時録画

エンジンのON/OFFに連動して、本体の電源を手動でON/OFFする手間なく自動で録画がスタート/ストップします。

・イベント記録

Gセンサーの搭載により、突発的な衝撃や急激な速度変化などを検知すると自動的に録画を開始し、常時録画とは違うイベント記録フォルダにデータを記録します。

・音声コマンド/手動録画

常時録画中でも、必要に応じて音声コマンドを発話する、あるいは手動で録画ボタンを押すと、常時録画とは違うイベント記録フォルダにデータが記録されるため、データの呼び出しや保存がしやすくなります。

・駐車録画

車載電源ケーブル「CA-DR550」（別売）を使用することで、エンジンをオフにしても電源の供給が可能になり、最長24時間の駐車録画に対応します。また、衝撃を検知してから録画を開始する「衝撃検知モード」と、1秒間に1フレームずつ録画し、衝撃を検知すると駐車録画を開始する「タイムラプスモード」の2つのモードから選択することができます。

12. その他の主な特長

・走行時の映像を高精細なフルHDで録画が可能

・表示エリアや明るさを画面にタッチして操作できる「タッチパネル液晶」を搭載

・ハンドルから手を放さずに音声で録画開始などの操作ができる「音声コマンド機能」を搭載

・SDカードのエラーを未然に防止する「SDカードメンテナンスフリー機能」を搭載^{※3}

※3：本機で初めて使用するSDカードを挿入する場合（他機で使用した場合も含む）や、録画設定を変更した場合は、フォーマットが必要です。

・専用の固定バンドで幅広い車種のルームミラーに装着可能な「バンド式装着」を採用

・後部座席などの確認時には、電源ボタンを押すことで通常のルームミラーに切り替えが可能

・最大容量128GBまでのmicroSDカードに対応

- ・録画されたファイルの万が一の破損を防ぐ「スーパーキャパシター」を搭載
- ・LED 信号機の無点灯記録を防止する「LED 信号機対応」
- ・地上デジタル放送への電波干渉を抑制する「地デジ干渉対策」
- ・Windows/Mac PC で詳細なドライブ情報を確認できる専用ビューアソフト「KENWOOD MIRA-RECO VIEWER」を用意
- ・一律 4 万円の補償金が支払われる交通事故時ドライブレコーダー買替補償金制度に対応^{※4}

※4：支払条件等の詳細はドライブレコーダー協議会のホームページをご確認ください。

<主な定格>

		DRV-EM4800	
本体仕様	メインユニット	電源電圧	DC5.0V (12V 車両用シガープラグコード付属)
		消費電流(最大)	1.8A (2.5A)
		駐車録画待機時消費電流(最大)	・衝撃検知モード：9.5mA ・タイムラプスモード：410mA
		測位衛星	GPS/QZSS (準天頂衛星)
		G センサー	イベント記録設定：6 段階、駐車録画設定：3 段階
		液晶モニターサイズ	12V 型 フルカラータッチパネル IPS 液晶
		動作温度範囲	-10℃～+60℃
		スーパーキャパシター	○
		地デジノイズ対策	○
		LED 信号対策	○
	フロントカメラ/リアカメラ	撮像素子	1/2.8 型 約 207 万画素フルカラーCMOS
		最大記録画角	水平：約 133°× 垂直：約 69°× 対角：約 162°
		F 値	F2.0
		動作温度範囲	-10℃～+60℃
撮影関連仕様	記録解像度	1920×1080(最大約 207 万画素) <フロントカメラ/リアカメラ>	
	フレームレート	28fps (タイムラプス時：1fps)	
	録画機能	常時録画/イベント記録/音声コマンド・手動録画/駐車録画 ^{※5※6}	
	常時録画ファイル単位	60 秒	
	駐車録画 ^{※5※6}	・オフタイマー設定：2/4/6/8/24 時間 ・衝撃検知録画モード：録画時間、衝撃検知後 60 秒 ・タイムラプスモード：録画時間、タイムラプス 1 ファイル+衝撃検知後 60 秒	
	音声記録	○ (オン/オフ可)	
	動画フォーマット	MOV (H.264+PCM)	
	静止画フォーマット	JPEG 準拠 (最大 1920×1080)	
	画像補正	HDR	
	記録映像再生方法	本体、もしくは Windows [®] 標準の Windows Media Player など。 専用ビューアソフト ^{※7} 対応(当社ホームページよりダウンロード)	
寸法等	記録メディア	microSD カード 32～128GB (ビデオスピードクラス：V30 以上推奨)	
	外形寸法 (W×H×D) (突起物除く)	<メインユニット> 296mm×79mm×27mm <フロント/リアカメラ> 57mm×31mm×25mm (ブラケット取り付け時の高さ：最大 60mm)	
付属品	質量 (重さ) (ブラケット/ケーブル含まず)	<メインユニット> 466g (microSDHC カード含む) <フロント/リアカメラ> > 35g	
	microSDHC カード	32GB	
	電源ケーブル	3.5m (シガープラグコード、 ガラス管ヒューズ：φ 5.2 × L20mm、電流容量 5A を内蔵)	
	接続ケーブル	接続ケーブル (フロントカメラ用)：0.7m	

		接続ケーブル（リアカメラ用）：9.8m
	GPS ユニットケーブル	2.0m
	中継コネクタ	○
	固定用バンド	短×2、長×2
	クリーニングクロス	○
その他	専用ビューアソフト	KENWOOD MIRA-RECO VIEWER ^{※7} (当社ホームページよりダウンロード)

※5：駐車監視録画には、車載電源ケーブル「CA-DR550」（別売）による電源接続が必要です。

※6：駐車監視録画時の衝撃検出は、メインユニットが検知した場合に作動します。

※7：対応の OS バージョンとビューアソフトの最新バージョンは当社ホームページでご確認ください。

<商標について>

● microSD ロゴ、microSDHC ロゴは SD-3C LLC の商標または登録商標です。● Windows[®]、Windows Media Player は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。● 「Mac OS」は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。● OMNIVISION と PURECEL は OmniVision Technologies, Inc. の登録商標または商標です。● 「ミラレコ」「Hi-CLEAR TUNE」「MIRA-RECO VIEWER」は、株式会社 JVC ケンウッドの商標または登録商標です。● その他、記載されている会社名、製品名は各社の商標および登録商標です。



メインユニット 液晶画面



メインユニット 背面



フロントカメラ



リアカメラ

<「DRV-EM4800」>

本件に関するお問い合わせ先

【報道関係窓口】 株式会社 JVCケンウッド 企業コミュニケーション部 広報・IR グループ
TEL：045-444-5310 〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町三丁目 12 番地

【お客様窓口】 JVCケンウッドカスタマーサポートセンター
TEL：0120-2727-87（固定電話からはフリーダイヤル）/
0570-010-114（携帯電話からはナビダイヤル）/ 045-450-8950（一部 IP 電話）

本資料の内容は発表時のものです。最新の情報と異なる場合がありますのでご了承ください。

www.jvckenwood.com